

十二月六日

十五時大学。ひろしまハウスレクチャー及び展覧会のオープニング。百五〇名程の参加者であった。

十二月七日

一日中徹底的に休養。

十二月八日

十一時新宿スバルビル前、中里氏と待ち合わせ。中央高速にて羽村市神明台の株式会社ココロへ。サンリオ出資の日本有数のアミューズメントロボット製作会社である。なまめかしい女性のロボットアクトロイドがお目当てであったが、それはすでに大阪大学へ行ってしまい、ジュラシック・パークに登場していた一番小さくて狂暴なベロキラプトルを見せていただく。スペインのグラナダに輸出するものらしく、実に精妙なモノであった。他にも様々な恐竜のロボットが居て、いかにも日本の得意技を駆使している風があつて面白かつた。取材修了後十六時半前新宿帰着。渋谷より東横線で武蔵小杉へ。十七時半、勇能福祉会第三回設立準備会出席。十九時半修了。渋谷迄戻り世田谷村に戻る。

十二月九日

九時半研究室打ち合わせ。安藤、森川。十一時修論ゼミ。明日

の利根町レクチャー準備。十二時半東京ガスへ。十三時よりコンペ審査。住宅デザインは沈滞している。十六時半修了。森川と新宿西口待ち合わせ。五反田TRCトモコーポレーション。新木場倉庫打ち合わせ。チョツとしたアイデアが出現しているので、打合せも楽しい。二〇時前修了。二〇時三〇分新宿西口に戻り、安藤とつじヶ丘へ。住宅の依頼者、馬場さんと会う。二十一時十五分、馬場さんの義理のお兄さんの店で打ち合わせ。小さな集合住宅との複合建築の計画。二十二時過修了。鶴川街道沿いの土地を夜中ではあつたかが検分し、二十三時過世田谷村に戻る。

十二月十日

九時過杏林病院。十時抜糸というか頭の傷を縫いつけていたホツチキス6ケのうち、4ケを除去する。頭にホツチキスを打つ時は麻酔をかけたので痛くもかゆくも無かつたが、取り除く時は極めてドライな外科的処置で少々痛かつた。マ、自業自得である。只今十二時、取手に向つている。NHKの取材の件でスケジュールが混乱したが、一応落ち着かせよう。少し計りのケガで病院通いをする羽目になつたが、そんな時に限つて、やたらに仕事の依頼が増えている。皮肉なもんだ。十二時半取手着。佐藤宅で昼食のうどんいただく。穏やかな冬日和で落着く。十四時文間小学校講演会。小学六年生十七名聴講。参加者八十名位かな。現在百人以上スクールは総勢七四名程。少しづつ増えているようだ。小学生との問答も含め十五時半過終了。二階で校長先生と雑談。十六時佐藤宅に寄り、お茶。渡辺先生のガラパゴスの話し等うかがう。只今十七時半取手より上野への車中。夜、セルフビルドの連載原稿書く。

十二月十一日

十時半杏林大学病院。検査の結果を知らされる。再検査であるうと思っていたが、その必要は無かった。思わぬアクシデントで頭に裂傷を負い、救急車で病院に運び込まれ、脳の検査、首の検査のついでと言ったら誤解を招くが、まあ拾いモノのように、内科、その他の検査までしてしまった。病院嫌い、検査嫌いの私としては青天のへきれきであった。考えてみればこれは医者も言うように幸運であったかも知れぬ。この際のオーバーホールして、馬力もアップさせて、六〇代を乗り切ろうと思えるようになった。診察、その他、再び血液検査などして、ようやくマアマアOKと言う事になった。上海も行って良ろしいとの事である。十四時十五分修了。仙川までタクシーで、新宿十五時〇三分発で指扇の現場へ。現場で森田兼次さん親子と会い、打ち合わせ。左官の大將にこんな小さな現場で申し訳ない。現場は仕上がりも近く、ようやく思い通りの感じになってきた。細かい打合わせを安藤と。森田さんは明日、中沢さん泉さん等を現場に連れてくると言う。イヤハヤ、日本一左官まで連れ出してしまつて申し訳ない。二十一時世田谷村戻り。夜、セルフビルド連載原稿仕上げる。

十二月二日夜のアクシデント以来連日の病院通いであつたが、ようやく今日で一区切りついたような気がする。いつ、何が起きてもおかしくないのを思い知った。一日一日を精一杯やるしかない。聖徳寺の仕上がりも近い。住宅が三軒同時に仕上がる。これは今年の成果なのか、それとも来年の成果なのか、マア、どっちでもいいか。一時寝る。